

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院精神科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研究課題名：オープンデータを利用した地理的情報と自殺に関する研究

1. 研究の概要

自殺は日本における最重要課題の一つです。本研究では、オープンデータや大規模社会疫学調査である一般社団法人日本老年学的評価研究機構が実施している研究データを二次利用することで、自殺の地域格差および予防因子や危険因子を明らかにしていきます。

【実施責任者】

石田 康 宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・教授

【主任研究者】

香田 将英 宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教

【分担研究者】

原田 奈穂子 宮崎大学医学部統合臨床看護科学講座精神看護学領域・教授

【共同研究機関】

近藤 克則 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・老年学評価研究部長

尾島 俊之 浜松医科大学医学部健康社会医学講座・教授

市川 学 芝浦工業大学システム理工学部・准教授

鄭 丞媛 新見公立大学健康科学部地域福祉学科・准教授

篠崎 智大 東京理科大学工学部情報工学科・講師

高橋 聡 金城学院大学国際情報学部・非常勤講師

宮國 康弘 国立研究開発法人国立長寿医療研究センター・研究員

井手 一茂 千葉大学予防医学センター・特任研究員

2. 目的

オープンデータの利用や、既存の社会疫学調査の二次データの利活用により、自殺に関連する地理的条件や地域格差、自殺の予防因子や危険因子を明らかにすることを目的としています。少子高齢社会における、よりきめ細やかな自殺対策の提言が期待できます。なお、この研究は、自殺対策に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から2024年3月まで行われます。

4. 対象者

誰でもアクセス可能なオープンデータの利用や、既存の匿名データを二次利用していきます。

5. 方法

厚生労働省、警察庁の公表する自殺に関する統計データ、国土交通省や気象庁等の地理情報デー

作成日

2021年5月6日 第1版作成

タや企業が提供する空間データ、統計局の人口動態や社会経済学的なデータに加えて、日本老年学的評価研究データを取得します。データ処理後に、自治体における地理的情報と自殺との関連を明らかにしていきます。自殺と地理的要因の関連について解析した後は、地理的な要因を調整した上で、社会的なつながりの有無や地域活動の参加状況などといった社会的要因と自殺の関連について明らかにしていきます。

【個人情報管理者】

香田 将英 宮崎大学医学部臨床神経科学講座精神医学分野・助教

6. 疑問、質問あるいは苦情があった場合の連絡先

この研究に関して疑問、質問あるいは苦情があった場合は下記連絡先へ連絡をお願い致します。

宮崎大学医学部附属病院精神科

氏名 香田 将英

電話：0985-85-2969

FAX：0985-85-5475